

令和6年度第1回北海道難聴児支援推進協議会（R6.12.27）概要

※黒字→事務局説明 赤字→構成員からの意見・追加説明

1 難聴児支援の現状と課題について

(1) 国の動向について

ア 早期発見のための新生児聴覚検査に係る取組

イ 早期支援のための取組

- ・「難聴児の早期支援に向けた保健・医療・福祉・教育の連携プロジェクト」の設置及びとりまとめ報告
- ・難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本方針策定
- ・障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針の改正
- ・聴覚障害児支援中核機能強化事業

(2) 道の現状について

ア 難聴児に関する実態調査

イ 早期発見のための新生児聴覚検査に係る取組

- ・お子さんの「きこえ」の手引き作成
- ・新生児聴覚検査に関する北海道と道医師会等の協定
- ・市町村における新生児聴覚検査の公費負担実施状況など
- ・分娩取扱医療機関における新生児聴覚検査の実施状況

ウ 早期支援のための取組

- ・道立聾学校専門支援事業
- ・難聴児等支援派遣研修事業

エ 軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費等の助成制度

オ 第1期ほっかいどう障がい福祉プラン策定

カ 道における課題

- ・新生児聴覚検査

→ 市町村における具体的な公費負担の状況について補足説明

- ・道立聾学校専門支援事業、難聴児等支援派遣研修事業、市町村における療育体制
- ・中核的機能を有する体制の整備

→ 今後の計画について：令和8年度末までに整備

→ 専門人材の育成の困難さ、予算の不足

2 今後の主な協議事項について

令和6年度は、現状や課題などの共有、令和7年度は、主に中核的機能を有する体制について協議

→ 進捗状況や課題の解決状況について定期的に確認すべき・専門員派遣について、北海道の広域性をどのようにカバーしていくのか・それぞれの機関、立場で役割分担をするべき

3 難聴児支援に関するアンケート調査について

アンケートの対象・方法について

→ 項目内容について意見あり